

消化酵素剤  
パンクレアチン「ヨシダ」  
日本薬局方 パンクレアチン

Pancreatin

500g



製造販売元  
吉田製薬株式会社  
埼玉県狭山市南入曽951

2021年6月改訂(第6版)  
2015年4月改訂(第5版)

日本標準商品分類番号	
872331	
承認番号	(61AM)2728
薬価収載	1964年5月
販売開始	1964年5月
再評価結果	1983年4月

貯法：気密容器に入れ、30℃  
以下で保存  
使用期限：箱に記載

【禁忌（次の患者には投与しないこと）】

1. 本剤に対し過敏症の既往歴のある患者。
2. ウシ又はブタたん白質に対し過敏症の既往歴のある患者。  
(ウシ又はブタの臓臓由来の消化酵素であるため)

【組成・性状】

1. 組成  
本剤1g中、日局パンクレアチン1gを含む。
2. 製剤の性状  
本剤は白色～淡黄色の粉末で、特異なおいがある。

【効能・効果】

消化異常症状の改善

【用法・用量】

パンクレアチンとして、通常成人1回1gを1日3回食後に経口投与する。なお、年齢、  
症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類、頻度	頻度不明
過敏症	くしゃみ、流涙、皮膚発赤等

注) 症状があらわれた場合には、投与を中止すること。

2. 適用上の注意

服用時

- (1)投与に際しては、直ちに飲みくたすように注意すること。〔小児が誤って本剤  
を大量に停滞させたため、口内炎及び口腔内潰瘍を起こしたとの報告がある。〕
- (2)投与に際しては、粉末を吸入しないように注意すること。〔本剤の吸入により  
気管支炎、鼻炎を起こしたとの報告がある。〕

【薬効薬理】

プロテアーゼ、アミラーゼ、リパーゼ、トリプシン、キモトリプシン、カルボキ  
シペプチダーゼ、リボヌクレアーゼなど多くの酵素を含有し、タンパク質、炭水  
化物及び脂肪の消化を行う。しかしトリプシン、アミラーゼ、リパーゼなどは胃  
液によって活性を失う。



◀開封口

消化酵素剤  
パンクレアチン「ヨシダ」  
日本薬局方 パンクレアチン

Pancreatin

500g



製造販売元  
吉田製薬株式会社  
埼玉県狭山市南入曽951

パンクレアチン「ヨシダ」  
日本薬局方 パンクレアチン

【文献請求先】

吉田製薬株式会社 学術部  
〒164-0011 東京都中野区中央5-1-10

調剤



製造番号

使用期限

販売

